

## 菊川町林業研究会が間伐材運搬研修会を実施

### 菊川町林業研究会の研修会で未利用間伐材のバイオマス利用を実践

分類：新着ニュース, 林業

登録日：平成28年4月27日 | 下関農林事務所森林部

菊川町林業研究会では、平成28年4月18日(月)に間伐材運搬研修会を実施しました。同会は林業に関する知識・技能を高めようと、毎年研修会を実施しており、今回は、利用されていない間伐材を森林バイオマス利用のために出材して、実際に収益をあげる体験をしてみることとなり、間伐材の搬出・運搬の一連の作業に取り組んだものです。

当日は、林研会員8人が参加し、菊川町内で切り捨て間伐が行われたスギ・ヒノキ林から、所有者の了解を得て利用されていない間伐材を運び出しました。作業はすべて人力で行い、年齢層のやや高い参加者にとっては大変な重労働でしたが、1時間30分ほどで軽トラ5台に間伐材を積み込むことができました。続いて約10km離れた下関市豊田町殿敷の飯森木材(株)森林バイオマスセンター下関工場まで、5台の軽トラを連ねて運搬し、1台ずつ計量した上で荷下ろしして、今回の一連の作業が終了しました。

また、森林バイオマスセンターの設備も見学させてもらい、移動式チップperの実演では丸太があつという間にチップ化される様子にみんな驚いていました。

今回搬入した間伐材は、計量の結果、5台で約2トンの重量があり、売り払い金額は約1万円になりました。このお金は林業研究会の収入となります。金額が多いか、少ないか、の受け止め方はいろいろあると思いますが、会員にとっては、山に放置されていた木がお金に換えられることを実際に体験することで、自分の山を見直すきっかけになったようでした。



軽トラへの積込作業



5台並んで森林バイオマスセンターに到着

問合せ先

メール：[a171074@pref.yamaguchi.lg.jp](mailto:a171074@pref.yamaguchi.lg.jp) 電話：0837-66-1182